

令和4年度決算の概要

令和4年度の一般会計における最終予算現額は381億6,302万円で、この予算に対する決算額は、歳入が345億7,254万円、歳出が340億4,946万円で、差し引き5億2,309万円です。このうち翌年度へ繰り越すべき額の2億381万円を差し引いた実質収支の額は3億1,928万円となり、19年連続の黒字決算となりました。

財政用語については、
こちらを
ご確認ください。



会計名	決算額		形式収支額(A) (歳入-歳出)	繰越すべき財源(B)	実質収支額 (A)-(B)
	歳入	歳出			
一般会計	345億7,254万円	340億4,946万円	5億2,309万円	2億381万円	3億1,928万円

※端数処理の関係上、歳入・歳出及び形式収支額などの計が一致しないことがあります。

一般会計 歳入の概要

一般会計 歳入の概要

①市税 118億8,805万円(前年度比2.3%増)

個人市民税で1億2,439万円の増、固定資産税で9,065万円の増など

②税外収入 36億7,080万円(前年度比21.5%増)

繰越金では前年度純剰余金で391万円の減、寄附金ではふるさと応援寄附金で2,618万円の増、諸収入では大阪府都市競艇企業団配分金で6,916万円の増など

③国庫支出金 81億7,597万円(前年度比12.7%減)

子育て世帯等臨時特別支援事業費補助金で11億9,745万円の減、住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業費補助金で6億9,301万円の減など

④地方交付税 46億7,811万円(前年度比2.2%増)

地方財源の均衡化を図るため、国税の一定割合などが地方公共団体に交付されるもの

⑤府支出金 22億7,297万円(前年度比11.4%増)

障がい者総合支援負担金で6,425万円の増、安心子ども基金特別対策事業費補助金で7,572万円の増、施設型給付費負担金で4,931万円の増など

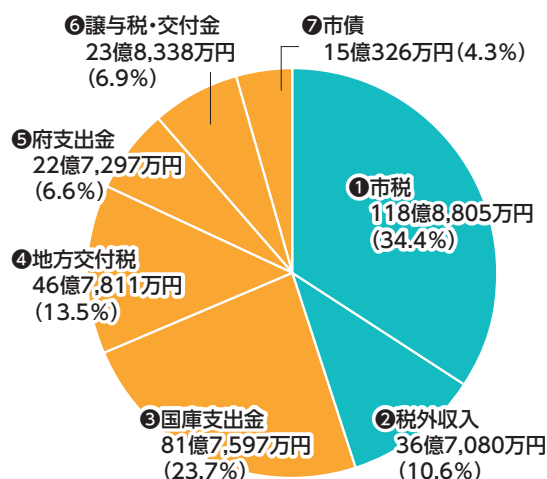
⑥譲与税・交付金 23億8,338万円(前年度比2.3%減)

地方消費税交付金5,723万円増の17億3,995万円で、そのうち社会保障財源交付金にあたる9億9,948万円を障がい福祉サービス給付などの社会保障施策の財源として活用

⑦市債(借入金) 15億326万円(前年度比39.8%減)

臨時財政対策債で6億3,309万円の減、新図書館整備事業債で2億4,080万円の減、小学校整備事業債で2億840万円の減など

歳入 345億7,254万円



①市税の内訳

個人市民税	39億4,310万円
法人市民税	8億6,772万円
固定資産税	53億1,040万円
軽自動車税	1億3,486万円
市たばこ税	6億3,927万円
都市計画税	9億9,270万円

②税外収入の内容

諸収入、使用料及び手数料、繰越金、分担金及び負担金、財産収入、繰入金、寄附金

■自主財源(地方自治体の権限で収入できる財源)

■依存財源(国や府の意思決定に基づき交付される財源)

市民1人あたりの市税負担額

(令和4年度末時点での住民登録人口により算出)

16万2,565円

一般会計 歳出の概要

歳出の決算は、経費の経済的な性質に着目した「性質別分類」と行政目的に着目した「目的別分類」に分類します。性質別分類では令和4年度の概要を、目的別分類では、市民1人あたりの歳出額をお知らせします。

性質別

【義務的経費】

●扶助費 97億4,088万円(前年度比8.7%減)

子育て世帯への臨時特別給付金給付事業で10億9,551万円の減、住民税非課税世帯等臨時特別給付金支給事業で6億4,526万円の減など

●人件費 46億3,479万円(前年度比1.7%減)

職員給で1,909万円の減、退職手当で8,444万円の減など

●公債費 25億4,094万円(前年度比5.6%減)

市債の返済に要する経費

【投資的経費】

●普通建設事業費 26億1,465万円(前年度比15.7%減)

新図書館整備事業で5億5,665万円の減、公園施設整備事業で4億6,921万円の減など

【その他の経費】

●145億1,820万円(前年度比5.9%増)


補助費等で、前年度比1.0%増の47億7,061万円となり、病院事業会計繰出金事業で2億546万円の増が主な要因です。繰出金では、土地取得事業特別会計繰出金事業で2億9,439万円の増など、前年度比13.4%増の35億1,035万円で、積立金では、財政調整基金積立事業で1億8,009万円の増など、前年度比15.3%減の13億273万円となりました。

目的別

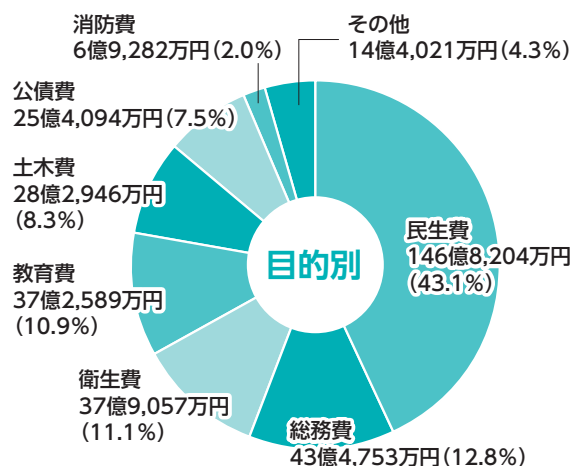
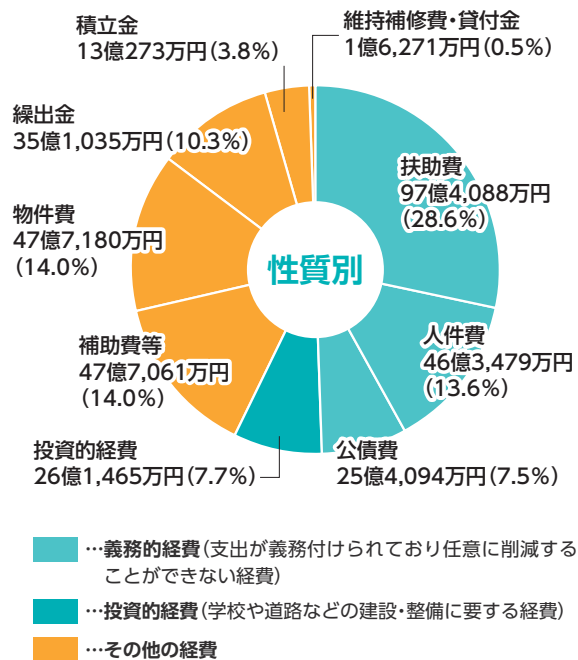
市民1人あたりの歳出総額 **46万5,614円**

(令和4年度末時点での住民登録人口により算出)

目的別歳出を市民一人あたりに置き換えると…

民生費	総務費	衛生費	教育費	土木費	公債費	消防費	その他
高齢者や児童の福祉に	窓口業務、税金徴収に	ごみ処理や病気予防に	学校、公民館、学習活動に	道路、河川、公園整備に	借入金の返済に	消防活動、防災活動に	議会、商工、農林水産に
							
20万772円	5万9,451円	5万1,835円	5万950円	3万8,692円	3万4,746円	9,474円	1万9,694円

歳出 340億4,946万円



特別会計の決算状況

会計名	決算額		形式収支額 (歳入・歳出差引額) (A)	翌年度へ 繰越すべき財源 (B)	実質収支額 (A) - (B)
	歳入	歳出			
特別会計	160億7,413万円	157億1,068万円	3億6,346万円	0万円	3億6,346万円
土地取得事業特別会計	5億1,363万円	5億1,363万円	0万円	0万円	0万円
国民健康保険事業特別会計	80億5,946万円	79億6,770万円	9,176万円	0万円	9,176万円
介護保険事業特別会計	63億9,041万円	61億5,940万円	2億3,101万円	0万円	2億3,101万円
後期高齢者医療特別会計	11億1,063万円	10億6,995万円	4,069万円	0万円	4,069万円

※端数処理の関係上、歳入・歳出および形式収支額などの計が一致しないことがあります。

借入金と財産の状況 (令和5年6月30日時点)

市の借入金(市債・企業債)現在高

会計名	現在高
一般会計	250億5,015万円
土地取得事業特別会計	11億9,756万円
下水道事業会計	188億90万円
水道事業会計	32億2,238万円
病院事業会計	28億51万円
合計	510億7,150万円

市の財産現在高

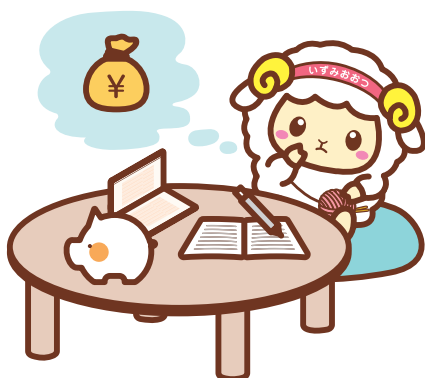
区分	現在高
有価証券	2,350万円
基金	
泉大津市財政調整基金	48億3,392万円
泉大津市都市施設整備基金	1億67万円
泉大津市福祉基金	4億2,257万円
交流とふれあいのまちづくり基金	2億5,737万円
深喜人材育成基金	1億2,932万円
泉大津市公園墓地基金	4,187万円
泉大津市介護給付費準備基金	4億8,516万円
辻川穂太郎やすらぎ基金	7,134万円
泉大津市がんばろう基金	4,860万円
佐野幸子基金	1,302万円
泉大津市地域環境基金	1億520万円
八木稔すこやか基金	5,055万円
泉大津市環境整備資金貸付基金	6,269万円
泉大津市営住宅整備基金	3億5,977万円
テクスピア大阪産業振興整備基金	6億5,670万円
泉大津市安全・安心なまちづくり連携活動基金	6,469万円
泉大津市ふるさと応援基金	13億8,493万円
泉大津市下水道基金	0万円
泉大津市公共施設整備基金	4億9,140万円
泉大津市国民健康保険事業財政調整基金	2億9,208万円
泉大津市駐車場整備基金	3,783万円
泉大津市森林環境譲与税基金	2,095万円
小計	99億3,063万円
合計	99億5,413万円

市民1人あたりにおきかえと…



借入金(市債・企業債)	70万円
財産	14万円

※令和5年6月末時点での住民登録人口により算出



令和4年度決算の健全化判断比率と資金不足比率(暫定値)

健全化判断比率:4指標

※黒字である場合には、「-」の表示となります。

各比率	概要	泉大津市		国の基準	
		比率		早期健全化基準	財政再生基準
		4年度	3年度		
実質赤字比率	標準財政規模に対する一般会計などの赤字の割合	-	-	12.61%以上	20.00%以上
連結実質赤字比率	標準財政規模に対する全会計の赤字の割合	-	-	17.61%以上	30.00%以上
実質公債費比率	1年間の収入に対する借金(借入金)返済の負担を3か年の平均で示した割合	8.7%	8.5%	25.0%以上	35.0%以上
将来負担比率	標準財政規模に対する将来本市が支払う借入金返済の割合	6.1%	14.2%	350.0%以上	

資金不足比率

※不足額がない場合には、「-」の表示となります。

各比率	事業	概要	泉大津市		国の基準
			4年度	3年度	経営健全化指標
資金不足比率	水道事業会計	公営企業の事業規模に対する資金不足の割合 この割合が高い場合、経営状況が悪いことを示します	-	-	20.0%以上
	病院事業会計		-	-	
	下水道事業会計		-	-	

令和4年度に実施した主な事業

① 市制施行80周年記念シンボル事業 5,398万円

令和4年4月1日に市制施行80周年を迎えたことを記念し、官民連携・市民共創の理念で、だんじりパレードや市民にぎわいフェスティバル、市民や団体が企画・実施する市民提案事業(13事業)を実施するなど、さまざまな記念事業を展開しました。

「つむぐ ひろがる #おづの未来」をキャッチフレーズに、未来をより明るく感じられる、まさに「Restart」の起点となる一年となりました。

80周年記念事業
の報告書はこちら



② 条南小学校における長寿命化改良工事 4億9,424万円

昭和50年に建築された校舎のライフラインの更新や建物の耐久性を高める老朽化対策、バリアフリー化やトイレ洋式化など機能・性能を向上させる長寿命化改良工事を行いました。主に校舎棟西側の普通教室や家庭科室などの改修を行いました。



③ 泉大津円形スケートパークの開園 3,164万円

港湾エリアのさらなる魅力向上、賑わい創出を目的に、スケートボード場として利用されていた小松緑道広場を「泉大津円形スケートパーク」として整備を行いました。

初心者や家族連れでも利用できるセクションを設置しています。

